【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公開番号】特開2007-252142(P2007-252142A)
【公開日】平成19年9月27日(2007.9.27)
【年通号数】公開・登録公報2007-037
【出願番号】特願2006-75092(P2006-75092)
【国際特許分類】
Ｈ０２Ｐ　29/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０２Ｐ　5/00　　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成21年3月6日(2009.3.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
速度検出器により検出した電動機速度検出信号について一定周期毎の平均値の演算によって得られた電動機平均速度N_{MAVG}を帰還して速度偏差信号を演算し、前記電動機平均速度N_{MAVG}を微分した信号DN_{MFB}に電動機部の慣性時定数を乗じた信号を電動機部慣性の加速トルク信号T_{MAFB}として帰還して、トルク補償信号T_{RFL}と前記速度制御器により出力される前記トルク指令信号T_{RFA}とを加えた信号T_{RFM}に従った電動機トルクとなるように電動機の電流を制御する電動機制御方法において、
前記電動機平均速度N_{MAVG}を微分した信号DN_{MFB}と前記電動機平均速度N_{MAVG}を微分した信号DN_{MFB}に外乱抑制ゲインG_Fを乗じた信号DN_{MFBX}とを加えた信号に電動機部の慣性時定数を乗じた信号を電動機部と機械を合わせた全慣性の加速トルク信号T_{MAFB}とすることを特徴とする電動機制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
上記問題を解決するため、請求項１記載の発明は、速度検出器により検出した電動機速度検出信号について一定周期毎の平均値の演算によって得られた電動機平均速度N_{MAVG}を帰還して速度偏差信号を演算し、前記電動機平均速度N_{MAVG}を微分した信号DN_{MFB}に電動機部の慣性時定数を乗じた信号を電動機部慣性の加速トルク信号T_{MAFB}として帰還して、トルク補償信号T_{RFL}と前記速度制御器により出力される前記トルク指令信号T_{RFA}とを加えた信号T_{RFM}に従った電動機トルクとなるように電動機の電流を制御する電動機制御方法において、
前記電動機平均速度N_{MAVG}を微分した信号DN_{MFB}と前記電動機平均速度N_{MAVG}を微分した信号DN_{MFB}に外乱抑制ゲインG_Fを乗じた信号DN_{MFBX}とを加えた信号に電動機部の慣性時定数を乗じた信号を電動機部と機械を合わせた全慣性の加速トルク信号T_{MAFB}とすることを特徴としている。